

公立大学法人公立鳥取環境大学

<主な活動内容>

- ◆ SDGsの達成に貢献するために「SDGs取組宣言」を表明。教職員、学生だけでなく、企業等地域の関係者と一緒になってSDGsの取組を進めるために「SDGsワークショップ」を開催。（2018年）
- ◆ SDGsに関する情報発信・普及啓発を目的に大学Webサイト上に「SDGs特設ページ」を開設。（2019年）
- ◆ 授業内容の充実のためにシラバス（講義要項）に、SDGs17の目標との関連表を掲載。（2019、2020年）
- ◆ 学内特別研究費、書籍出版（書籍名「SDGsを考える」）への助成等でSDGs関係の研究活動の支援を実施。（2020年）
- ◆ SDGsに関わる意見交換の場として「SDGs地域塾」「SDGsカフェ」を開催。（2019、2020年）
- ◆ SDGsに関する外部団体との連携体制、情報交換体制の構築等のために、とっとり県民活動活性化センターが行う「とっとりSDGs推進会議」に参加。（2019年）同様に鳥取県の「とっとりSDGsネットワーク」に参加。（2020年）
- ◆ SDGsに関する地域への知的貢献、地域連携等を目的に「特別シンポジウム」等を開催。（2019年）
- ◆ TEASにおける各実行組織の環境目標にSDGsに関する内容を設定し、SDGsを日常業務に定着化。（2019年）
- ◆ 全学的に一層SDGs活動を推進させるため、SDGs推進機能を「サステナビリティ研究所」に集約し、より組織的・発展的なSDGs推進体制を構築。同研究所主催の「研究成果報告会」「SDGsワークショップ」等を開催。（2020年）
- ◆ 学生がSDGsを知り、SDGsの達成に向けた取組を、多角的に考えられるように人間形成科目「SDGs基礎」を開講。本学教員の執筆・編集による「SDGsを考える」を教科書とした。（2020年）
- ◆ SDGsの理念にもつながる宇沢弘文氏（米子市出身の世界的経済学者）の「社会的共通資本」をテーマとした「SDGs特別講義」を開催。（2020年）



公立大学法人公立鳥取環境大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。